



保健センター検査課だより



目次

・検査課内のご紹介 (生化学・免疫学) ...1	・総合検査依頼書の記入方法について ...4
・ // (血液・一般・微生物) ...2	・よくあるご質問 ...5~6
・ // (病理・細胞診) ...3	・電子カルテと保健センター検査システムの連携 ...7~8

皆様、永らくご無沙汰いたしまして申し訳ございませんでした。

久々に検査課だよりを発行させていただくこととなりました。

この度、以前から多くの先生方からご要望いただいております推定一日食塩摂取量をご報告できる体制を整えさせていただきました。

これからも、先生方からのニーズに応えられる検査課として皆様のお役に立つことができますように、検査検体部会としましてもさらに検査内容を効率よく充実させていきたいと考えています。

これまで以上のご指導・ご鞭撻・ご教示を賜りますようお願い申し上げます。

公益財団法人加古川総合保健センター 検査検体部会 会長

おりべ内科医院 院長 織辺 敏也

検査課内のご紹介～生化学・免疫学～

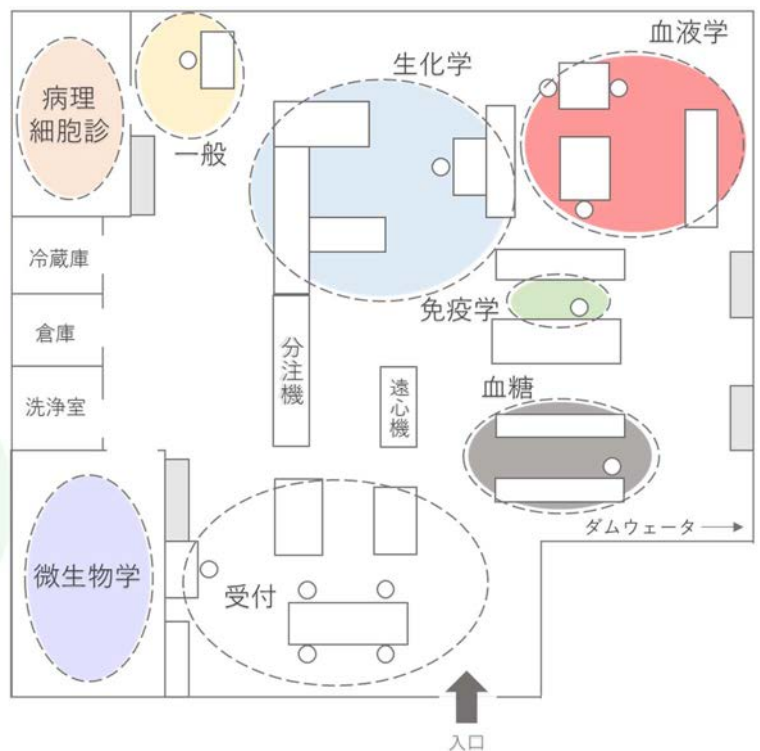


生化学的検査部門は、ご出検いただいた血液・尿・穿刺液などの項目を測定し、あらゆる病態を把握することができます。異常がある場合、血液中の種々の成分は基準値と比較し、高値や低値を示すことがあります。そのため、これらの成分を測定することは病気の存在を知る上で大変重要です。



免疫学的検査部門は心筋マーカー、腫瘍マーカー、内分泌（ホルモン）、感染症などを測定し、あらゆる病態を把握することができます。

～案内図～



～血液学・一般・微生物学～



血液学的検査は、血算、血液像、凝固検査を行っています。血算は血液中に含まれる赤血球・白血球・血小板の数、ヘモグロビン濃度・ヘマトクリット値を調べる検査です。血液像では好中球・好酸球・好塩基球・単球・リンパ球の分類、白血球・赤血球・血小板の形態の観察、異常細胞の確認などを行います。

凝固検査では、出血傾向のスクリーニングであるPT・APTTの検査を行っています。

★「Dダイマー」が保健センター内検査になりました★

これまで外部委託だった「Dダイマー」が3月4日のご依頼分から保健センター内検査になりました。1～2日での結果報告となります。深部静脈血栓症（DVT）の診断などにぜひお役立ていただければと思います。

一般検査は、主に尿検査、便潜血検査を行っています。尿検査は尿中の血球や細菌、上皮などの有形成分と尿蛋白や糖、潜血などの生化学的性状を調べる検査です。また、便潜血検査はヒトヘモグロビンを検出する免疫学的検査で下部消化管出血を確認できます。その他に、髄液や関節液・胸水・腹水などの穿刺液検査や、ヘリコバクターピロリ感染を調べる尿素呼吸試験なども行っています。



微生物学的検査は、喀痰や尿、便、血液等を培養し、検出された細菌を同定し、薬剤の利き方を調べる検査です。（現在、こちらの検査は一部を除き外部委託となっています。）

また、サルモネラやO-157など食中毒の原因菌の保菌状況を調べる健康者検便や、アレルギー性鼻炎の診断に役立つ鼻汁好酸球数の検査も行っております。（こちらはこれまで同様に保健センター内検査を行っております。）

検査課内のご紹介～病理・細胞診～



Integrated Imager(ホロジック社)

病理細胞診検査は、ご出検いただいた臓器や組織から顕微鏡標本を作成し、癌などの病気を診断します。当センターでは「病理学的検査」と「細胞診検査」を行っております。

.....

病理学的検査は、内視鏡や手術により摘出された組織材料や臓器を調べる検査です。採取された臓器や組織をパラフィン固定・薄切・染色処理し、顕微鏡で観察できるように標本の作製を検査技師が行い、病気の診断は病理専門医が行います。

.....

細胞診検査は、喀痰・尿・胸水・腹水中の細胞や、子宮腔部・頸部、子宮体部などを擦過して採取した細胞を液状化検体専用容器に入れたり、スライドガラスに塗り、染色して作製した標本から癌細胞・ウイルス感染細胞・真菌などの有無を細胞検査士が顕微鏡でスクリーニングを行い調べます。

悪性細胞など異常細胞があれば、細胞診専門医にご診断をいただきます。また、子宮がん検診や肺がん検診では癌の早期発見に役立っております。

子宮腔部・頸部から採取した細胞については令和2年からThinprep 5000 (ホロジック社)にて液状標本の作製を行っております。細胞検査士によるファーストスクリーニング後、新たに導入したIntegrated Imager(自動スクリーニング装置/ホロジック社)にてダブルスクリーニングを行い精度向上に努めております。



Thinprep 5000(ホロジック社)

■総合検査依頼書の記入方法について

検体とともにご提出いただく総合依頼書の記入方法について改めてご案内いたします。

正確かつ迅速な検査のため、ご協力よろしくをお願いいたします。

検査項目数を必ずご記入ください。
チェック数と合わない場合はお問い合わせさせていただく場合があります。

印字の病医院名をご確認ください。

患者様情報等をご記入ください。
濁点、半濁点は一文字としてご記入ください。
カナ氏名は枠内に大きくご記入ください。
<読み取り間違いが多い文字>
「ア」と「マ」 「ク」と「ワ」 「シ」と「ツ」
「ソ」と「リ」と「ン」 「ヤ」と「セ」
「コ」と「ユ」 「ミ」と「シ」 など

必要に応じて
連絡事項や食事時間、
便の採取日時等
をご記入ください。

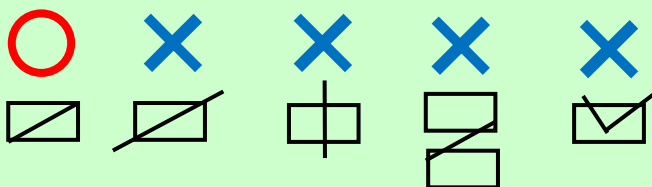
病医院毎の院内セットを印字しております。

依頼票に印字がないセットは
こちらへご記入ください。

ご依頼の項目



キャンセルの場合



機械で読み取りますので枠内に線をご記入ください。
また、記入が薄いと機械が読み取らない場合がありますので
ボールペンで強くご記入ください。
3枚複写となっておりますので当センターへの提出分へも
チェックが正しく複写されているかご確認ください。

常用負荷試験は時間にもチェックをしてください。

時間へのチェックも右上に記入する
検査項目数として数えてください。
180分を超える場合は
右上の連絡事項欄に時間をご記入ください。

依頼票に印字がない項目は
こちらへ検査項目名をご記入ください。
項目コードが分かる場合は
そちらもご記入ください。

よくあるご質問

計算式を用いて測定できる項目についてもご依頼いただけます

FIB-4 Index

〈依頼コード：584〉

必要項目

- ・AST (GOT)
- ・ALT (GPT)
- ・血小板数
-
- ・生年月日

トランスフェリン飽和率 (TSAT)

〈依頼コード：156〉

必要項目

- ・Fe
- ・TIBC

LDL/HDL比

〈依頼コード：197〉

必要項目

- ・HDL-C
- ・LDL-C

推定塩分摂取量

〈依頼コード：578〉

必要項目

- ・尿ナトリウム
- ・尿クレアチニン
-
- ・生年月日
- ・身長 (cm)
- ・体重 (kg)

※必要項目は自動で測定となります。
 ※生年月日、身長、体重は依頼書にご記入ください。

依頼書記入例

総合検査案内の右下、「その他検査項目」に
 右図のように項目名、コードを記入して下さい。

その他検査項目				
FIB-4 Index	5	8	4	

ノロウイルス抗原定性とノロウイルスRNA定性では、依頼方法・再便容器が異なります

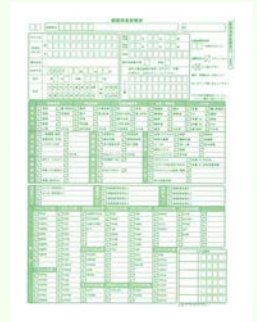
ノロウイルス抗原定性

検査方法：イムノクロマト法
 依頼書：総合検査依頼書
 (免疫学的検査)
 容器：ハイドラフロックスワブGL



ノロウイルスRNA定性

検査方法：RT-PCR法
 依頼書：細菌検査依頼書
 容器：採便容器



「保健センター検査課だより」

SRL総合検査案内〈電子版〉のご案内



株式会社エスアールエル様では、項目情報を参照いただく各デジタルツールがございます。

新規・変更・中止などの検査に関するお知らせをリアルタイムでご覧いただけます。

また、総合検査案内にはない臨床意義やレセプト名など、より詳しい情報を掲載しております。

検体量

採取容器

所要日数

…など



<https://test-guide.srl.info/hachioji/>

SRL 検査案内

三 SRL総合検査案内

キーワード検索

AND OR

現在のラボ：八王子ラボ

IOP > 内分泌学的検査 > 内分泌学的(その他) > エリスロポエチン

● エリスロポエチン

項目コード：0279 1

検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	キャップ カラー	保存 (安定性)	所要 日数	実施科 判断料	検査方法	基準値 (単位)
エリスロポエチン 4Z275-0000-023-052	血清 0.8	S09 ↓ A00		冷蔵 (28日)	2~4	209 ※5	CLEIA Ⅱ	4.2~23.7(mIU/mL)

備考

&1

診療報酬

D008(41)
エリスロポエチン
生化学的検査(Ⅱ)判断料144点△

容器

S09

お問い合わせ

～PDFデータの出力方法～

各検査項目分野枠内の「○」にチェックを入れ、画面右上の「開く」ボタンを押すとPDFデータをダウンロードすることができます。

← 戻る

1個選択中

開く

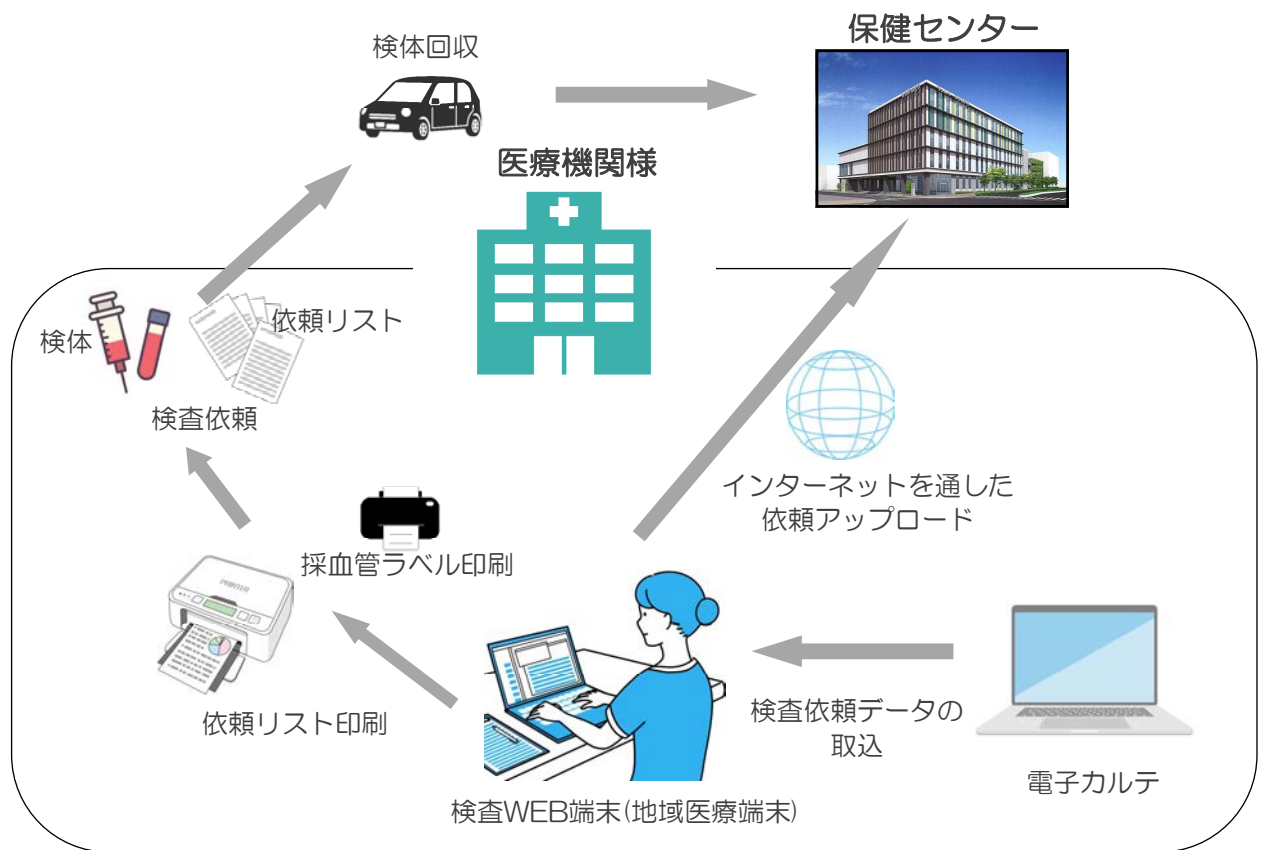
現在のラボ：八王子ラボ
Last Up Date：2024/03/13

カテゴリから探す

- 生化学的検査
- 薬物検査
- 血液学的検査
- 内分泌学的検査
- 腫瘍関連検査
- ウイルス学的検査
- 免疫血清学的検査
- アレルギー検査
- 細胞性免疫検査
- 染色体検査
- 遺伝子関連検査
- 一般検査
- 微生物学的検査
- 病理学的検査
- 総合解析検査
- リスク検査
- 研究検査
- GHI依頼検査

電子カルテと保健センター検査システムを連携するとスムーズに検査の依頼や検査結果の閲覧ができるようになります！

検査依頼データ作成支援システム（検査の依頼）



医療機関様の電子カルテから保健センターへ検査依頼ができるシステムです。

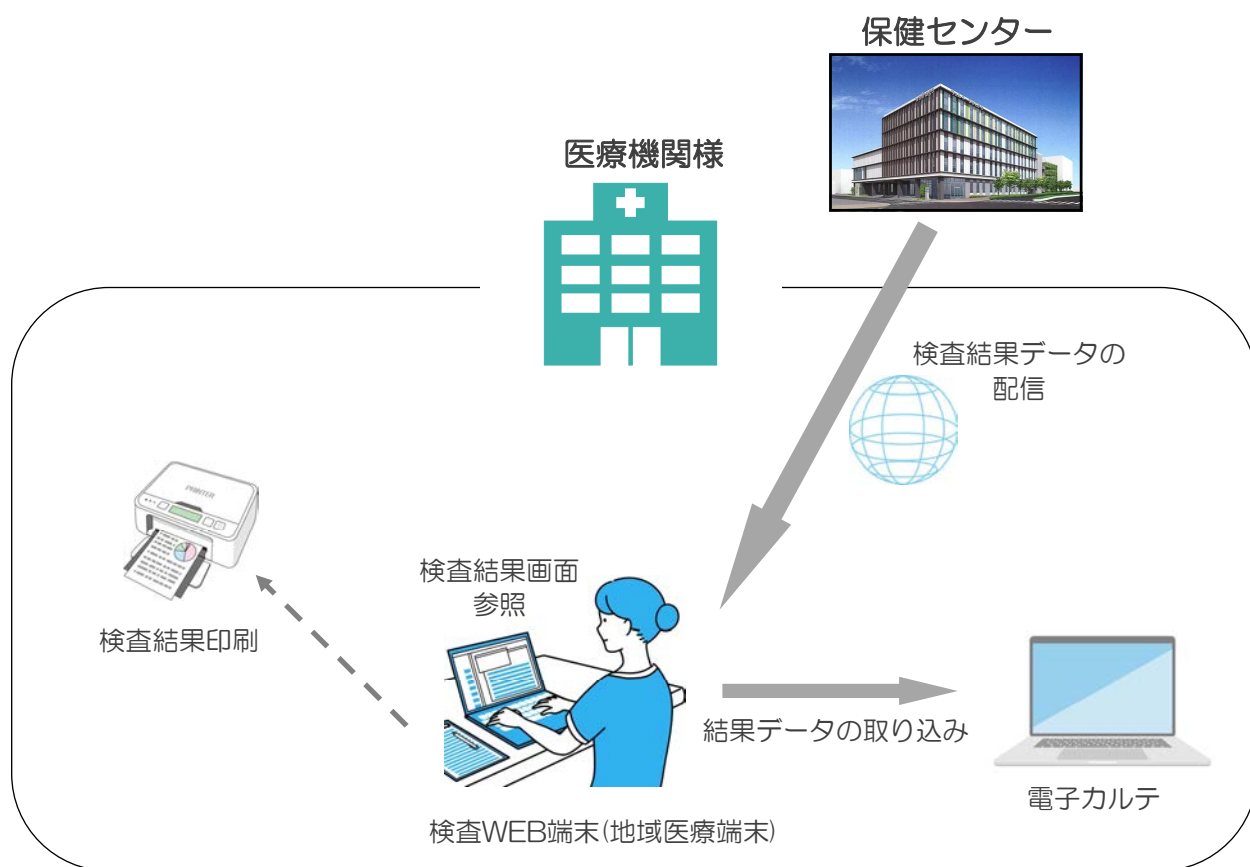
簡単なパソコン操作で依頼リストが印刷できます。依頼票の記入の必要がないのでご依頼の手間が省けます！

依頼項目に応じて自動で検体ラベルが作成されるので採血管に貼るだけでOKです！

<ご利用いただくにあたって>

- ・1か月100件以上のご依頼が見込まれる医療機関様が対象です。
- ・ご利用されている電子カルテのメーカーや仕様によっては連携ができない場合があります。
- ・加古川地域保健医療情報システムに加入されていない医療機関様はご加入後の導入となります。
- ・細菌、病理細胞診検査は対象外です。
- ・ラベルライター、電子カルテ接続用ルーターは貸与します。

検査データWEB配信システム（検査結果の報告）



保健センターに依頼された検査結果を各医療機関様の電子カルテに取り込んで閲覧できるシステムです。

また、検査WEBからの検査結果の閲覧や、医療機関様での報告書の印刷も可能です。

保健センターから報告書が届く前に
検査結果が出次第、医療機関様の
パソコンで確認、印刷することができます！

また、電子カルテでも
検査結果が確認できるようになります！



■編集後記

検査課（臨床検査部門）では、検査検体部会の先生方のご指導のもとに精度管理調査に参加し、精確な検査データの報告が出来るよう努めております。今後も検査の質の向上と信頼出来る検査結果の提供を行ってまいります。

（検査課だより作成チーム一同）

加古川総合保健センター検査課だよりに対するご意見・ご要望をお寄せください。
お寄せ頂いたご意見・ご要望は、今後の検査課の運営の参考にさせていただきます。

お問合せ：公益財団法人加古川総合保健センター 検査課
〒675-0065 加古川市加古川町篠原町103番地3号
TEL:079-429-2200 FAX :079-429-6500